

<第4238回>

目的地：明神平～高見山（台高）

担当者：山本

実施日：2022年4月23日（土）～24日（日）

形式：テント泊縦走

費用：¥3,480.-（鶴橋駅発着＋温泉代）

参加者：6名

行程：

23日（天気：晴）

鶴橋駅(7:09)⇒(8:00)榛原駅(8:18)⇒(8:38)菟田野(8:40)⇒(9:12)大又(9:25)→(10:05)H710m付近(10:15)→古池辻(10:25)→(11:30)大鏡池(11:40)→(12:45)薊岳[昼食](13:18)→(14:03)P1321m(14:10)→(14:50)明神岳(14:54)→明神平(15:30)[16:30夕食 19:30就寝]

24日（天気：雨）[4:00起床・朝食]

明神平(5:35)→(6:15)国見山(6:21)→(7:11)伊勢辻山(7:15)→(8:04)ハンシ山北1110m付近(8:10)→南のタワ(8:45)→(9:18)雲ヶ瀬山(9:24)→(10:06)高見峠(10:23)→(11:15)高見山(11:35)→杉谷分岐(12:10)→(13:40)たかすみ温泉[入浴](15:50)⇒(16:16)菟田野(16:36)⇒榛原駅(16:57)[解散]

感想：

大又から大鏡池まで、いきなりの急登で始まります。よく手入れされた吉野杉の植林帯の中を黙々と登っていきますが、足下にはスミレやミヤマカタバミなどの小さくて可憐な花が心を和ませてくれました。二時間ほどで大鏡池に到着。今回は大鏡山の山頂を踏んで薊岳に向かいます。ここからは尾根筋に出ますのでアップダウンはあるものの快適な道が続きます。薊岳で台高南部や大峰の主稜線を眺めながら少し遅めの昼食。白神会長が楽しみにしていた古い青雲会のプレートを探しましたが、残念ながら見つかりませんでした。薊岳を過ぎると登山道の脇には至る所にバイケイソウの若葉が芽吹いていました。せっかくなので明神岳に立ち寄ってから明神平に向かうことにしましたが、明神岳の山頂はあまりパツとしませませんでした。明神平に到着後、取りあえず写真撮影。そして水汲みに行ってあしび山荘の前にテントを張ろうとしましたが、風が強かったので風を遮る木のある東屋付近にテントを張り、東屋で車座になって楽しい夕食となりました。

翌日は朝から雨が降る予報だったのでなるべく早く行動を開始することに。4時に起きた時には雨は降っていないので早々にテントを撤収。朝食を済ませ、出発しようとした頃に雨が降り始めてきましたが、お陰で雨に濡れた重たいテントを担ぐことなく歩くことができました。途中、霧に煙る大又川沿いの谷の風景は雨の日ならではの、こういう山歩きも楽しいものです。また、赤ゾレ池から伊勢辻山まではアセビの群落が沢山あって、しかも満開でとてもきれいでした。ハンシ山を少し下ったところからは高見山が水墨画のようないい雰囲気を見せてくれましたが、たちまちガスが上がってきて見えなくなりました。雲ヶ瀬山を越え高見峠に近づくとつれ雨脚が少し強くなってきました。高見峠から高見山まで最後のひと頑張り。300mの標高差を一時間かけて一生懸命登りましたが、高見山の山頂はガスで真っ白。まあ、こんなもんですね。避難小屋で休憩の後、たかすみ温泉へとひたすら下っていきます。登山道はきれいに整備されていますが、雨でところどころ川のようになっていました。二時間ほどでたかすみ温泉に到着。雨で少し体が冷えていたこともあって、久しぶりの下山後の温泉はとても気持ち良かったです。でもここには食堂がなく、酒類も売っていないので、風呂上がりのビールが飲めなかったのが残念でした。そして、帰り支度を整えて、外に出たらもう雨は止んでいました。久しぶりの「泊まり山行あるある」でした・・(^_^;

特記：

・菟田野からは東吉野村役場のコミュニティバスで事前に予約が必要です。